

令和2年度各会計決算状況

項 目		最終予算額	歳 入	歳 出	差引残高
一般会計		191億1,676万円	189億4,510万円	186億3,976万円	3億 534万円
特別会計	介護保険	23億9,435万円	24億3,432万円	23億5,799万円	7,633万円
	国民健康保険	30億2,658万円	28億8,579万円	28億7,944万円	635万円
	後期高齢者医療	4億 610万円	4億 358万円	4億 310万円	48万円
	農業集落排水	1億6,317万円	1億7,055万円	1億6,019万円	1,036万円
	下水道	8億5,343万円	7億7,378万円	7億6,257万円	1,121万円
	計	68億4,363万円	66億6,802万円	65億6,329万円	1億 473万円
合計		259億6,039万円	256億1,312万円	252億 305万円	4億1,007万円

財産の状況

▼各基金の現金保有額(令和2年度末現在)

基金の名称	金 額
財政調整基金	5億 521万円
減債基金	5億1,470万円
公共施設整備基金	5億3,345万円
土地開発基金	2億4,918万円
人材育成基金	5,864万円
社会福祉振興基金	5,106万円
みどりのまちづくり事業基金	260万円
その他 (11基金)	5億1,419万円
合計	24億2,903万円

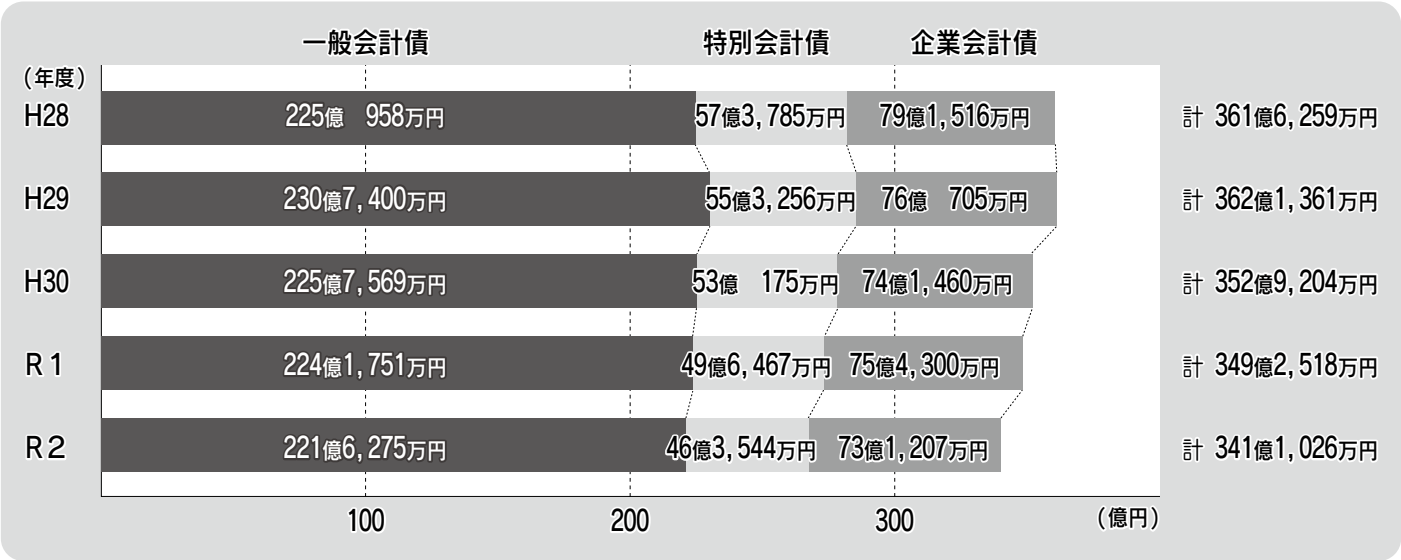
※基金とは一般家庭の預貯金に当たるものです。
このうち一般会計が保有する積立基金は17億2,411万円です。

▼その他の財産の保有状況(令和2年度末現在)

区 分	数 量	説 明
土 地	3,028万8,878㎡	施設用地・山林など
建 物	20万8,611㎡	市役所庁舎・学校・体育館などの建物
物 権	12万9,537㎡	地上権
有価証券	1,532万円	株券
出 資 金	2,076万円	関係団体等出資金
債 権	1億4,397万円	長期貸付金など
物 品	69台	車両

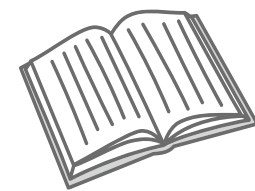
市債の年度末残高の状況

◇市債の推移



深川市の財政事情

市では、財政の状況を市民のみなさんに理解してもらうため、条例に基づき年に2回財政の状況を公表しています。2回目の今回は、令和2年度決算の概要と令和3年度予算の執行状況などをお知らせします。



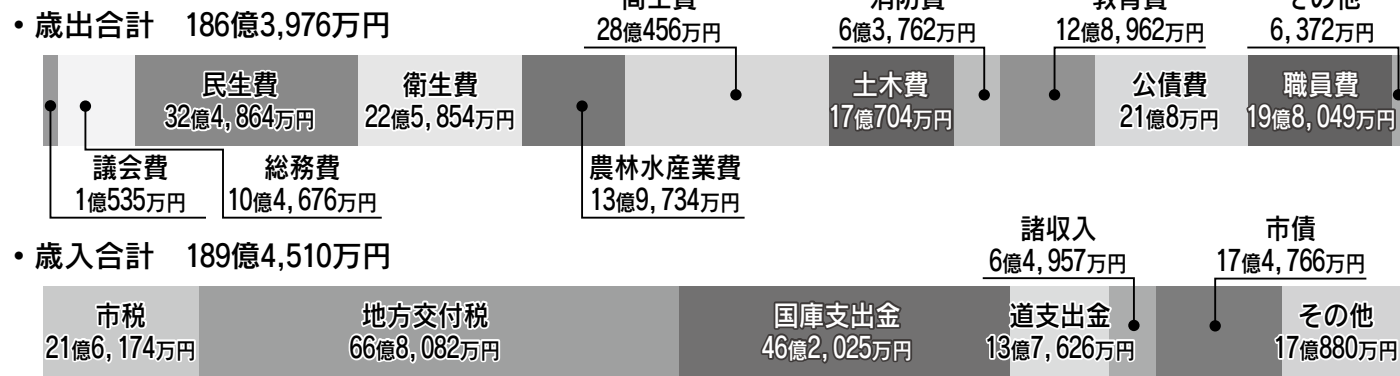
令和2年度決算の概要

市の一般会計と5特別会計を合わせた令和2年度決算の歳入決算額は256億1312万円、歳出決算額は252億305万円、差引残高は4億1007万円の黒字となり、翌年度に繰り越した事業に充てる4664万円を差し引いた実質的な黒字は3億6343万円となりました。

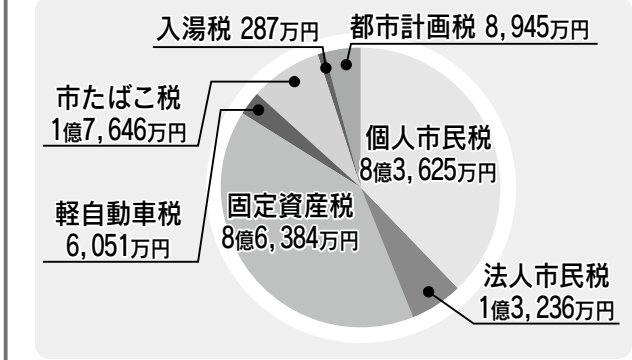
このうち一般会計の歳入決算額は189億4510万円、歳出決算額は186億3976万円、差引き3億534万円の黒字となり、翌年度に繰り越した事業に充てる4664万円を差し引いた実質的な黒字は2億5870万円となりました。

令和2年度決算の健全化判断比率等、道内各市と比較した場合、本市の財政状況は依然として厳しい状況にあり、令和3年度においても限られた財源の中でより一層の効率的な執行と経費の節減に努め、財政の健全性の維持に努めます。

一般会計決算の状況



市税の内訳



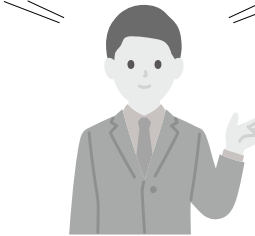
市民1人当たりでは

一般会計歳出額	基金残高	市税負担額	市債残高
943,000円	122,900円	109,400円	1,725,600円

議会費	5,300円	土木費	86,400円
総務費	53,000円	消防費	32,300円
民生費	164,300円	教育費	65,200円
衛生費	114,300円	公債費	106,200円
農林水産業費	70,700円	職員費	100,200円
農工商費	141,900円	その他	3,200円

▲令和3年3月31日現在の人口(19,767人)を基に算出

費用の使い道



- 議会費
議会運営など
- 総務費
市の総務管理など
- 民生費
高齢者対策や児童福祉など
- 衛生費
市民の健康や環境の保全など
- 農林水産業費
農林業の振興や生産基盤整備
- 農工商費
商工業や観光の振興
- 土木費
道路や公園、市営住宅などの整備
- 消防費
消防や防災など
- 教育費
小中学校の運営や生涯学習の推進
- 公債費
借入金の返済
- 職員費
市職員の給与など
- その他
災害復旧など

分かりやすい決算書

市の決算を分かりやすく説明した、令和2年度「深川市の今年のしごとー決算編ー」を市役所と各支所で閲覧できます。また、希望する方に配布しますので、企画財政課財政係に連絡してください。

市のホームページにも掲載しています（「深川市の今年のしごと」で検索してください）。



予算や決算、
財政運営に関する問合せ先
企画財政課財政係
(☎26-2622)

▼健全化判断比率の対象

会計の区分			比率の名称				
			実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	資金不足比率
深川市の会計	一般会計		○	○	○	○	
	特別会計	介護保険 国民健康保険 後期高齢者医療		○	○	○	
		公営企業会計					
	一部事務組合・広域連合	水道 市立病院 農業集落排水 下水道		○	○	○	○
		消防組合 衛生センター組合 空知教育センター組合 広域水道企業団 廃棄物処理広域連合 学校給食組合			○	○	
深川市の会計	公社・第3セクターなど					○	

※「○」が比率の対象となる会計。「資金不足比率」は会計ごとで算定する。

④「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の健全化判断比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律では、自治体は4つの健全化判断比率と公営企業ごとの資金不足比率を公表し、これらの比率が健全化基準を上回った場合、健全化計画の策定が義務付けられています。

本市の令和2年度決算の健全化判断比率および資金不足比率は、下表のとおりいずれも早期健全化基準を下回っています。

◇ 財政の健全性を示す5つの指標

実質赤字比率

一般会計などの赤字額を標準的な一般財源（標準財政規模）で割ったもので、一般会計などの赤字額の割合を示す指標。

連結実質赤字比率

一般会計、特別会計、公営企業会計の赤字額の合計を標準的な一般財源（標準財政規模）で割ったもので、市全体の赤字額の割合を示す指標。

実質公債費比率

自治体の標準的な一般財源（標準財政規模）に対する借入金の返済額などを表す指標。自治体の自由に使えるお金が、借入金の返済にどの程度使われているかを示すもので、割合が高ければ自由に使えるお金が少ないことを示す指標。

将来負担比率

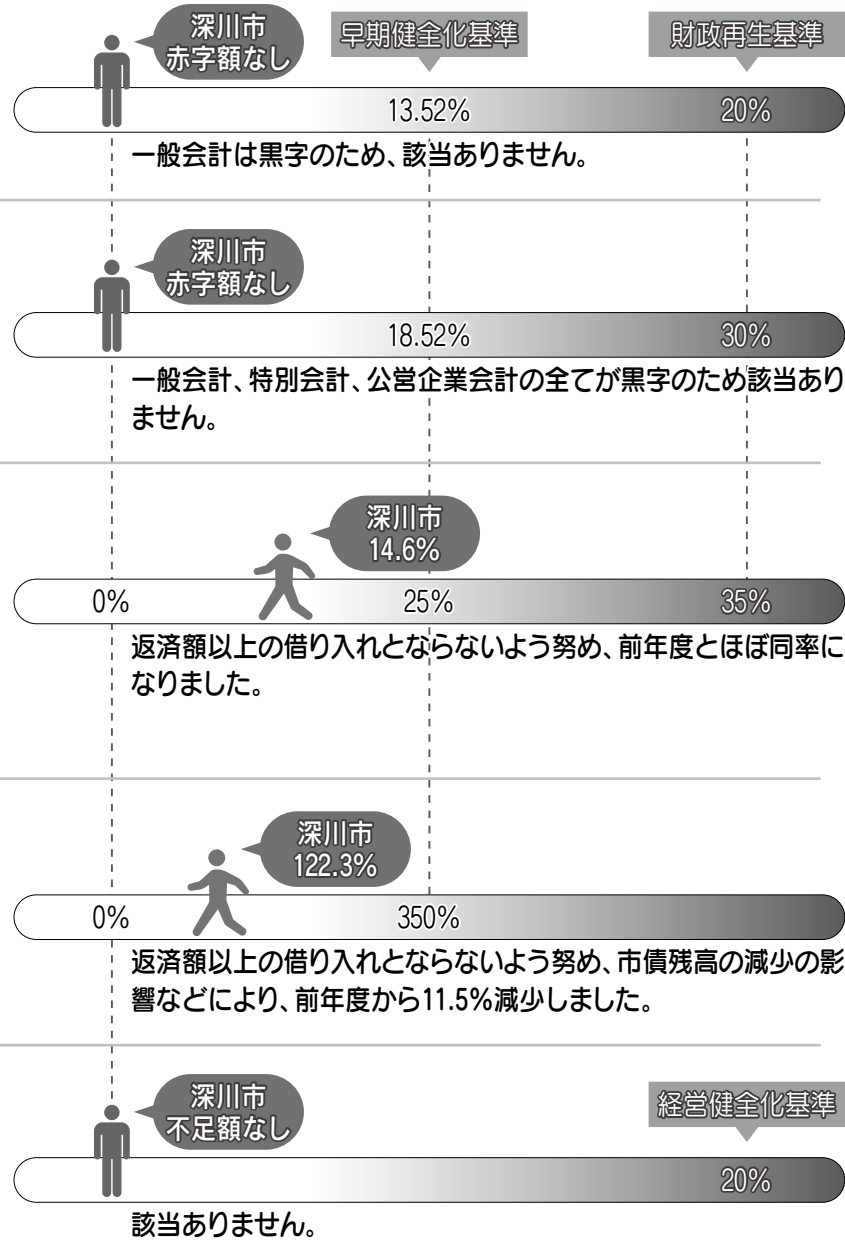
一般会計、特別会計、公営企業会計に、一部事務組合・広域連合、公社・第3セクターを含め将来負担しなければならない全体像を示す指標。

資金不足比率

市立病院や水道事業などの公営企業に適用する指標。資金不足は、1年以内に支払いを要する費用から手持ちの現金や預金を差し引いたもので、足りない場合に資金が不足することになります。

財政良好

財政悪化



⑤ 健全化判断比率の全道の状況

▲下記の数値は、速報値のため、今後変更となる場合があります。

▼実質公債費比率の高い市町村

1	2	3	4	5	6	7	8
夕張市	網走市	弟子屈町	江差町	岩内町	由仁町	広尾町	深川市
70.0%	17.4%	16.4%	15.6%	15.5%	15.1%	15.0%	14.6%

※地方債の発行が許可制となる18%以上の市町村は、道内179市町村のうち1市。

▼将来負担比率の高い市町村

1	2	3	4	5
夕張市	北見市	岩内町	士別市	深川市
336.0%	158.9%	138.3%	136.6%	122.3%

※早期健全化基準の350%を超える市町村は、道内179市町村のうち0市。

⑥ 令和3年度予算の執行状況

令和3年度各会計予算の執行状況は、9月末までの実績で一般会計と特別会計の合計で歳入41.2%、歳出39.9%の執行率となっており、新型コロナワクチン接種や市役所新庁舎の建設、高等看護学院の改築、市営住宅・道路・下水道の整備などの事業を進めています。

▼令和3年度各会計予算の執行状況(9月30日現在)

項 目		予 算 額	歳 入	執行率	歳 出	執行率
一般会計		174億6,643万円	77億5,610万円	44.4%	71億3,119万円	40.8%
特別会計	介護保険	23億 946万円	10億9,288万円	47.3%	9億9,098万円	42.9%
	国民健康保険	30億5,600万円	9億8,747万円	32.3%	11億1,967万円	36.6%
	後期高齢者医療	4億1,453万円	1億1,525万円	27.8%	1億 899万円	26.3%
	農業集落排水	1億8,140万円	2,351万円	13.0%	7,508万円	41.4%
	下水道	9億8,600万円	9,113万円	9.2%	3億2,125万円	32.6%
	計	69億4,739万円	23億1,024万円	33.3%	26億1,597万円	37.7%
合計		244億1,382万円	100億6,634万円	41.2%	97億4,716万円	39.9%

※予算額には令和2年度からの繰越額を含みます。一時借入金はありません。

病院事業会計

令和2年度事業の概要

新型コロナウイルス感染症への対応により、医業収益は大幅に減少しました。

入院の延べ患者数は前年度比17.7%の減、収益では2億3,112万円の減となり、外来の延べ患者数は前年度比2.8%の減、収益では2,135万円の減となりました。資金不足額は経営改善の継続や新型コロナウイルス感染症関係の補助金による増収で発生しませんでした。

●病床数 203床(実稼働183床)

●患者数 入院 延べ 49,948人(1日平均136.8人)
外来 延べ 109,871人(1日平均452.1人)

令和2年度決算の状況

収益的収支で2,709万円の純利益が生じ、前年度繰越欠損金95億7,660万円と合算し、95億4,951万円を未処理欠損金として翌年度へ繰り越しました。



収益的収支決算額

収入	47億8,919万円
支出	47億6,210万円
差引	2,709万円

資本的収支決算額

収入	5億7,764万円
支出	7億 354万円
差引	▲1億2,590万円

令和3年度予算の執行状況(8月31日現在)

収益的収支

	予算額	執行額	執行率
収入	41億1,059万円	18億2,656万円	44.4%
支出	47億1,546万円	14億9,435万円	31.7%

資本的収支

	予算額	執行額	執行率
収入	5億3,581万円	3億6,522万円	68.2%
支出	7億7,857万円	5,119万円	6.6%

※決算額に消費税および地方消費税は含まませんが、執行状況は税込額となっています。

●**損益勘定留保資金**
収益的収支の経費のうち、減価償却費など現金支出を伴わない費用の合計額をいいます。内部留保資金として、別途使うことができます。なお、その発生時期によって、当年度と過年度に分けられます。

●**資本的収支**
経営基盤強化など、事業の投資に係る収入と支出で、収入は国・道補助金や企業債などで、支出は施設・設備の拡張・改良工事費や企業債の元金償還金などで構成されています。

●**収益的収支**
事業の経営に係る収入と支出で、水道事業では、水道料金や一般会計からの繰入金などの収入と、北空知広域水道企業団からの水の購入代金や維持管理費などの支出で構成されています。病院事業では、診療収入や一般会計からの繰入金などの収入と、人件費や材料費、維持管理費などの支出で構成されています。

用語解説

水道事業会計

令和2年度事業の概況

配水管の新設や道路改良事業に伴う移設工事などを施工し、配水管網の整備と給水サービスの向上を図り、安定した水の供給に努めました。

●給水人口 19,231人(市民全体の97.3%)

●給水戸数 9,338戸

●年間総配水量 201万1,101m³
(1日平均 5,510m³)



令和2年度決算の状況

収益的収支で2,901万円の純損失が生じ、前年度繰越欠損金4億5,743万円と合算し、4億8,644万円を未処理欠損金として翌年度へ繰り越しました。また、資本的収支の不足分は、過年度分損益勘定留保資金で補填(ほてん)しました。

収益的収支決算額

収入	5億6,825万円
支出	5億9,726万円
差引	▲2,901万円

資本的収支決算額

収入	5,400万円
支出	1億 140万円
差引	▲4,740万円

令和3年度予算の執行状況(8月31日現在)

収益的収支

	予算額	執行額	執行率
収入	6億4,470万円	2億2,800万円	35.4%
支出	7億5,030万円	1億5,761万円	21.0%

資本的収支

	予算額	執行額	執行率
収入	7,250万円	0万円	0%
支出	1億2,950万円	50万円	0.4%

